

平成22年4月、清須市庄内川水防センター(みずとぴあ庄内)から上流に向かう散策路が完成し、多くの皆さんの姿を目にします。早速、歩いている方に、利用目的を尋ねてみると健康づくりのため、自然と触れ合うためなど、日常生活の中で散策路は様々なかたちで利用されていることがわかりました。そんな散策路も少し視点を変えて歩いてみるとまた違った楽しみ方ができ、まちを再発見することができます。皆さんも散策路を歩きまちの魅力を探しに出かけませんか。

庄内川の自然を体験しよう

散策路は、庄内川の水辺にあるため、川の流れを感じながら歩くことができます。水際には鯉がゆったりと泳ぎ、自生する木や花、野鳥なども目を楽しませてくれます。散策路の途中には、河川敷内にあった流木を利用したベンチも置かれています。散策路沿いは、清須の中でも多くの自然環境が残る貴重な空間と言えます。



流木を利用したベンチ

庄内川からの景観を楽しもう

その昔、枇杷島橋界限は、七勝八景と言われるほどの景勝地でした。七勝八景とは、東に望む名古屋城、堤の桜、下小田井の市(青物市場)、水辺の納涼、長橋の明月、清音寺の鐘、中島の暁月、小田井の煙雨を言います。季節ごとに見られる景色はもとより、視覚的なものだけではなく五感で感じられることも含め七勝八景として捉えていたようです。そんな枇杷島橋界限には、多くの文人墨客が訪れました。かの松尾芭蕉もその一人であり、この地に訪れ「市人よこの笠売う雪の笠」と句を詠んだそうです。

かつての景勝地の姿はありませんが、枇杷島橋界限では今もなお様々な景観を楽しむことができます。中でも庄内川は満々と水を湛え、四季折々の流れが見られます。散策路から東を望むと昔は名古屋城でしたが、今はさながら名古屋の摩天楼といったところでしょうか。名古屋駅前の高層ビル群が高くそびえ建ち、庄内川から見える景観の中でも大きな存在となっています。夜には美しいイルミネーションを装い、昼間とは違う美しさを放ちます。



名古屋駅前の高層ビル

枇杷島橋と名鉄橋梁の間の散策路から川側の護岸を覗くと、尾張西枇杷島まつりに登場する「山車」や「獅子」を模った壁画を見ることができます。護岸に色とりどりの玉石を敷詰め表現された「山車」や「獅子」はまさにアートであり、水辺の美術館のようです。このアートをきれいに görmらおうと山車保存会の皆さんが草取りや清掃活動を行っています。

散策路を下流から上流に向かって歩くと赤いケーブルの橋が目に入ります。この橋は、名古屋高速6号清須線に架かる「赤とんぼ橋」で、赤いケーブルがどことなくとんぼの羽を連想させます。高速6号清須線が開通することを記念し、公募により名づけられました。

「赤とんぼ橋」は、良好な都市景観に貢献している工作物として、「第23回名古屋市都市景観賞（まちなみ部門）」を受賞しました。散策路には、今なお私たちの目を楽しませてくれる景観がたくさんあり、かつての枇杷島橋界隈の七勝八景は現代にも息づいているように思えます。



満々と水を湛える庄内川



護岸につくられた壁画



赤とんぼ橋（名古屋市都市景観賞受賞）

庄内川界隈の歴史・文化に触れよう

庄内川に架かる名鉄橋梁からJR橋梁の間にかけて、かつて大きな中州があり「中島」と呼ばれていました。明治期の「中島」には西春日井郡役所、西枇杷島町役場、公会堂などの公共施設をはじめ、料亭や民家などがありました。しかし、川の流れを阻害することから庄内川の河川改修により撤去されました。

遡ること1600年代初めには、「中島」を利用して庄内川に橋が架けられました。「中島」から名古屋側に架かる橋は大橋、清須（西枇杷島）側は小橋と呼ばれていました。この大橋と小橋が架かっていたのは現在の枇杷島橋のやや上流部にあたります。その昔、小橋が架かる清須側では徳川家康公の命により青物市場が開設されました。この地は、美濃路と岩倉街道との分岐点でもあり、交通の要所として多くの人や物が集まったことから、青物市場が開設され、日本三大市場の一つに数えられるほど発展しました。そんな歴史を伝えるため、枇杷島橋上流部の堤内地には、当時の青物市場の様子を描いた尾張名所図会にある大根を担いだ人物のモニュメント



ポケットパーク



山車蔵（橋詰町内会）



山車蔵（東六町内会）

トや道標などが設置されたポケットパークがあります。また、庄内川界隈には、東海道と中山道を結ぶ幕府直轄の街道「美濃路」が通っていたことから歴史・文化資源が多く残っています。その代表となるものが、200年以上の歴史を誇る清須（西枇杷島）の山車です。散策路界隈には、山車が保管されている山車蔵があり、山車は毎年6月第1土曜・日曜日に開催される「尾張西枇杷島まつり」で曳き出されます。「美濃路」には、他にも町家の形態を伝える建物や屋根神様など古き良き佇まいが今も残っています。大自然が奏でる美しい眺望、庄内川界隈に残る歴史・文化に触れに、庄内川水辺の散策路を是非歩いてみてください。



飴茶庵の屋根神様



古い町家



山車五輛揃え